

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) タイガースポリマー株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番1号
----	------------------------------	----	---

本票作成 部署名：岡山工場 設備管理課

主たる業種	分類コード	19	業種名：ゴム製品製造業
-------	-------	----	-------------

事業の概要	ゴムシート・ゴムマット・ウレタンゴム及び関連製品の企画開発から製造
-------	-----------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県備前市吉永町福満 868番地2

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(令和 元 )年度排出量	目標年度(令和 1 年度)
	6,803 t CO <sub>2</sub>	6,258 t CO <sub>2</sub>	6,463 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元 )年度排出量
	①	岡山工場	6,258 t CO <sub>2</sub>
		t CO <sub>2</sub>	
		t CO <sub>2</sub>	
		t CO <sub>2</sub>	
		t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 27 年度 ~ 令和 1 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準 ( 元 )年度削減実績 <input type="checkbox"/> 目標削減率 <input type="checkbox"/> 目標達成			
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準 <input type="checkbox"/> △ 7.9 % <input type="checkbox"/> 5.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達			

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 元 )年度	目標年度
		985 kg CO <sub>2</sub> /( t )	1,063 kgCO <sub>2</sub> /( t )	936 kgCO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・月次での各部門のエネルギー使用状況を確認し、省エネ対策を計画に盛り込み取り組みを行った。しかしながら、一部の工程については通年で休日操業しての受注対応が続いていることや小ロット生産での影響で、固定電力の割合や段取り替えに伴う非生産エネルギーの増加等の要因が重なっていることも影響している。  
 ・省エネ投資については、1月にボイラー燃料のガス化転換工事計画が前倒しで実施できたことや、その他の案件も概ね計画通り実施できたと考えており、特に燃料転換に伴うCO<sub>2</sub>排出量の低減に関しては、今後大きな期待をしている。  
 ・今後とも、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。
- ・ISO14001に基づき、工場長をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進した。
- ・職制を通じた省エネの周知により、全従業員がその重要度を理解し、不要時の運転停止等にも取り組んだ。
- ・直接の省エネ対策に加え、継続的な経済活動（アメーバ経営、トヨタ生産方式）を通じて、生産性の改善に向けた取り組みを継続して行っている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和元年度実施分) 岡山工場	(令和元年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧ボイラー燃転（ガス化）更新（CO2削減量855ton/年）</li> <li>・RDH-1ブース蛍光灯のLED化（CO2削減量8.0ton/年）</li> <li>・（総務）（設備）事務所空調更新（CO2削減量1.1ton/年）</li> <li>・第2会議室空調更新（CO2削減量1.0ton/年）</li> <li>・BM受電室空調更新（CO2削減量1.3ton/年）</li> <li>・BP-75粉打機ブラシ駆動INV化（CO2削減量2.0ton/年）</li> <li>・BP-95EPCポンプ駆動INV化（CO2削減量0.8ton/年）</li> </ul>
(今後の実施予定分) 岡山工場	(今後の実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミストコレクター送風機ガス量連動化（CO2削減量5.0ton/年）</li> <li>・LNGサテライト温水ヒーター休日停止（CO2削減量19ton/年）</li> <li>・フラッシュ蒸気（廃熱）LNG気化用熱源利用（CO2削減量21ton/年）</li> <li>・BMダンプロール高圧モーター油圧モーター化（CO2削減量37ton/年）</li> <li>・連続加硫機EPCポンプ駆動INV化（CO2削減量0.8ton/年）</li> <li>・工場棟ルーフファンモーターINV化（CO2削減量5.0ton/年）</li> <li>・各所ブース蛍光灯のLED化（CO2削減量8.0ton/年）</li> <li>・老朽化した空調機の更新（CO2削減量1.3ton/年）</li> </ul> <p>慢性的な工程内不具合の撲滅に向けた対策を進める事で、総合的なエネルギー効率の向上に繋げる</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--